

平成30年 東京都校友会 新年賀詞交歓会

ことほ
華やかに なごやかに 寿ぐ



- 主 催：東京都校友会
- 日 時：1月20日（土）18時開催
- 会 場：ホテルメトロポリタンエドモント
「悠久の間」

- ◇司会：倉田 聡（77回）都校友会理事
杉山さおり（85回）都校友会理事
- ◇挨拶：佐藤 充（64回）都校友会副会長
渡邊儀一郎（63回）都校友会会長
田中 克法（72回）都校友会副会長
- ◇祝辞：中原 泉 理事長・学長，校友会会頭
近藤 勝洪 校友会本部長
羽村 章（68回）生命歯学部学部長
渡邊 文彦（66回）歯学会会長
山崎 一男（66回）東京都歯科医師会会長
- ◇受賞：倉治 康男（62回）校友会専務理事
東京都功労者表彰
- ◇乾杯：吉岡 重保（59回）都校友会監事

以上のうち4名の挨拶を抜粋し要約する。

＜渡邊儀一郎 都校友会会長＞

「裂古破今」とは、古を裂いて今を破る、と読む。古いものを全面否定し、新しいとって飛びつく。本当に良いものは古いものや新しいもの両方があるので、新旧うまくと混ぜていこう。



＜中原 泉 理事長・学長・校友会会頭＞

飯田橋駅西口前には、本学の校地がある。2020年のオリンピックまでに駅周辺の再開発のプランがすすめられる。本学はあくまで“日本歯科大学 First”という基本を守っていく。

＜近藤勝洪 校友会本部長＞

団塊の世代が後期高齢者（75歳以上）となることで、膨大な社会保障給付費を支える若い人たちの負担が増えるのが2025年問題だ。また今年の課題は、診療報酬の改定である。

＜東京都功労者表彰 倉治康男会員（62回）大森支部＞

国保の審査委員ならびに地元の歯科医師会の役員など地域の歯科医療に貢献したことが認められ表彰されたのだから。感謝に堪えない。

校友諸氏は料理に舌鼓を打ち、酒を酌み交わした。同窓は笑談し時の経つのも忘れ、宴もたけなわではあったが、閉会の辞をもって終了した。

平成28年度受賞者

瑞 宝 双 光 章	朝比奈敏行	37回	江戸川
旭 日 双 光 章	手塚裕文	56回	武蔵野
厚生労働大臣表彰	鈴木康仁	66回	町 田
文部科学大臣表彰	小林繁樹	55回	板 橋
文部科学大臣表彰	石川文一	57回	京 橋
文部科学大臣表彰	藤野 瑠男	60回	麻布赤坂
文部科学大臣表彰	梶谷 憲敬	67回	城 東
東京都功労者表彰	石川文一	57回	京 橋
東京都功労者表彰	河内 弘	60回	麻布赤坂
東京都功労者表彰	賤部 洋	62回	城 東
東京都功労者表彰	倉治ななえ	68回	大 森
日本歯科医師会会長表彰	西川正昭	56回	江戸川

会報 Vol.42 No.4 で掲載できませんでしたので、今号で掲載いたします。

朝比奈敏行会員は学校保健功労として、手塚裕文会員は保健衛生功労として、顕著な功績を挙げたことによりそれぞれ叙勲された。
(野上ゆかり・69回記)